

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。残暑が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。今年も終戦記念日

を迎えましたが、現在の日本の平和が続いているのは犠牲になった方々の上に成り立っていると考え、世界各国との交渉に関しても人間の特権である言語を使い何度でも話し合う事を心より願うばかりです。まだまだ暑さが厳しいので体調をくずしませんようにお元気で過ごしてください。

サンライズの物語

大切なのは、“本人の意思”——
家族の絆を想う物語



その方はご主人を亡くされ独りで暮らしていた方でしたが、突然難病である進行性核上性麻痺に罹患され、自身で起き上がる事もできなくなってしまったのです。

遠方の娘さんが頻りに訪問し介護をされておりましたが、誤嚥肺炎を何度も繰り返していたのです。昨年退院時に担当医からは経口からの摂取は難しいので胃ろうにしたらどうかと診断されました。娘さんは以前からお母様が延命処置を拒んでいたこともあり、もう一度、自宅へ戻りお母さんの好きだった麺類を食べさせたいとの意向により退院当日に訪問歯科に嚥下の評価を行って貰いました。

その時の担当医の医師の言葉が印象的でした。「スコープで確認したところ飲み込む力はあるが食べさせるのも食べるのも命賭けですね。在宅なので娘さんやご本人の意思が最優先されます。好きな物を最後まで食べさせたいと思うなら、各サービス事業所に娘さんより、起因する障害についての同意書を貰いなさい。お互いの為にも安心ですよ。」と・・・そんな中次第に体力は低下していき、発語もない状態になっておりましたが最後まで大好きだった麺類を食べて頂いたのです。

そして最期の日、娘さんや親戚の方々が見守る中ご主人の元へ旅立っていったのです。在宅での最期をどう過すか・・・元気な内にご本人やご家族が決める切なさ・・・辛いことです。今まで何十人もの方々の最期に立ち合い、最愛の人達との別れに際し流された涙を忘れないことが私達介護職の使命だと考えます。

サンライズのデイサービス陽光だより

【介護職員】
梅木 佳子



サンライズのデイサービス陽光の介護職員の梅木 佳子です、よろしくお願いいたします。

以前は訪問介護で、ヘルパーとして務めておりました

デイサービスでの勤務は初めてですが、今までの経験を活かして皆さまに喜んでいただけるサービスを提供できるように頑張っております。



井上から
エール!

頑張り屋さんの梅木さんをどうぞよろしくお願いいたします。
月、金曜日に出勤しております。

介護に役立つ書籍紹介

認知症の親を介護している人の心を守る本

著：西村 知香

「介護疲れ」を無視して頑張ろうとしていませんか？
懸命に支えても、尽くしても止められない進行への理解と「ケアが続けられるしくみ」づくりで、時間的、精神的、肉体的な負担が軽くなる法。
家族に認知症がいるすべての人、必読。大切なのは、「完璧であること」より「持続できること」。ゆったり構え、心をラクに、ひとりで抱え込まないで…。
介護で息切れしないためにすべきこと、やってはいけないこと。



NEWS 今月のニュース

高齢者、華麗にランウェイ 茅野でファッションショー

高齢者がお気に入りの衣装や思い出の一着を身にまとい、スポットライトを浴びながら披露する「いきいきシニア！モジモバファッションショー」が十八日、茅野市民館で開かれた。

「モジモバ」は粋でモダンなおじいちゃん、おばあちゃんを意味する。ファッションを通じて自己表現する楽しさを体験してもらいたいと企画した。八十八歳を最高齢に二十一組、総勢五十二人が出

演。今月上旬に歩き方や姿勢、髪形などの講習会を受け、本番に臨んだ。

出演者たちは五十年前の新婚旅行で着たスーツや母親の形見の着物をリメイクしたワンピース、南米の民族衣装などを着こなし、軽快な音楽に合わせて登場。堂々とランウェイを歩き、ポーズを決めると観客から拍手や歓声が飛んだ。

八年前に脳内出血で倒れ左半身が不自由になったという岡谷市の北沢紀子さん（67）は、着やすさと見栄えの良さを追求し

た衣装を披露。「人生のいい記念にと思って参加した。やって良かったという達成感でいっぱい。これからもずっとおしゃれを楽しみますよ」と話していた。



<中日新聞
2019年8月19日(月)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>